

## 平成24年度 開進第一小学校 学校評価 集計結果

評価結果をわかりやすく数値化し、表にまとめたのが以下の通りです。

A：あてはまる（4点） B：ややあてはまる（3点） C：あまりあてはまらない（2点） D：まったくあてはまらない（1点） E：わからない（点なし） として総合点を出し、総合点÷（総数－Eの数）を計算して平均値としました。

### ① 保護者、地域、教職員の評価結果

	【学校について】	保護者	地域	教職員
1	学校の教室や廊下、特別教室などの環境整備がいき届いている。	3.37	3.37	3.35
2	学校では校舎内外の施設・設備の安全管理を適切に行っている。	3.38	3.28	3.63
3	学校は、子どもたちのために意欲的に教育活動に取り組んでいる。	3.57	3.75	3.84
4	学校は、校内で起こった諸問題について迅速・適切に対応している。	3.31	3.71	3.77

	【教員の指導について】	保護者	地域	教職員
5	授業をわかりやすく工夫して教えている。	3.38	3.85	3.44
6	集団生活をする上での基本的な生活習慣が身に付くように指導している。	3.44	3.71	3.60
7	子どもの健康や安全に関する指導が適切に行われている。	3.48	3.57	3.66
8	子どもは、充実した学校生活を過ごし、学校が楽しいと感じている。	3.57	3.75	3.35

	【地域・保護者との連携について】	保護者	地域	教職員
9	学校は、各行事や公開日、参加型授業を通じて、学校を公開するために努力をしている。	3.76	3.75	3.69
10	学校は、教育方針や教育活動を学校だよりや学年だより等で地域・保護者にわかりやすく伝えている。	3.60	3.62	3.83
11	学校は、子どもについての連絡・相談に適切に対応している。	3.39	4.40	3.75

### ② 児童による評価結果

	評価項目	昨年度	今年度
1	学校は楽しいですか。	3.56	3.56
2	授業は、わかりやすいですか。	3.46	3.51
3	先生は、よいところをみつけてほめてくれますか。	3.51	3.41
4	先生は、いけないところをきちんと注意してくれますか。	3.72	3.49
5	学校には、こまったときに相談できる先生がいますか。	3.20	3.18
6	学校のきまりや約束を守っていますか。	3.19	3.34
7	自分の意見や考えを、進んで発表していますか。	2.96	2.81
8	自分からともだちや先生に進んであいさつしていますか。	3.42	3.41
9	友だちやまわりの人に、思いやりをもって親切にしていますか。	3.31	3.41
10	自分から進んで読書をしていますか。	3.42	3.33

以上の評価結果をもとにして、2月4日(土)の第三回学校評議員会で来年度に向けて話し合いを行いました。当日は、学校評議員の皆様へ全学級の授業を参観していただき、学校評価の分析についてご意見をいただきました。成果・課題・改善策として、以下のようにまとめました。

### 成果

- ・児童による評価「学校は楽しいですか」という項目では、昨年同様、よい評価が得られている。
- ・授業のわかりやすさ、きまりを守ること、思いやりの心は数値が高くなった。
- ・学校の施設等について、主事2名の体制で校舎内外をきれいにしてくれている。ありがたいです。
- ・学級の掲示、表示等が工夫されている。
- ・保護者の参観マナーがよくなった。廊下での私語等は見られなかった。

### 課題

- ・進んで発表する、大きな声で発表する等に課題がある。全体の中で、大きな声であいさつや返事ができるようにしたい。自分の意見を進んで発表できるよう伸ばしてほしい。
- ・児童は対人関係に関する項目において、自己評価が高くない傾向にある。
- ・ほめるところはほめ、いけないことはいけないと指導していく必要がある。
- ・評価の観点のB「ややあてはまる」に集中しがちなことから、観点項目を考える必要がある。
- ・授業中の児童の言葉遣いに課題がある。
- ・家での読書量が少ないように思える。

### 改善策

- ・児童が発表、発言しやすくなるような指導の工夫を行う。教師が声の大きさ等について指導する。また、正門前の道路を「あいさつロード」(仮称)として、地域の方にも気持ちのよいあいさつができるようにする。朝のあいさつ運動とともに、児童会を中心に活動を行う。
- ・自分の意見や考えを進んで発表する活動や1分間スピーチ等、全体での発表活動等を多く取り入れ、自信をもって学習・生活できるように日々の指導を工夫・改善する。
- ・規範意識を高めるとともに、児童のよさをほめて伸ばしていく指導を充実する。
- ・場に合った言葉遣いを意識し、学校全体で言語環境を整える。
- ・観点項目はAとBを肯定的評価、CとDを課題として捉え、4観点で経年比較をするためにも同じ観点項目で実施していく。
- ・朝読書(週2回)は継続して行う。読書の習慣は定着してきている。学校図書館の利用者数も前年度比20%増加しており、図書管理員・ボランティアと連携して、読書活動のさらなる充実を図る。